

気候と風土に恵まれた熊本県ですが、近年、大きな自然災害が相次いで発生しています。なぜ自然災害が多発するのでしょうか。九州の自然を見続けてきた研究者がその理由を語り、我々はどうすべきかを一緒に考えます。



東京地学協会特別講演会（市民向け）

# マグマと活断層の上に生きる

日時 10月13日（土） 13:00－16:30

会場 熊本大学百周年記念館（黒髪南キャンパス）

入場無料・申し込み不要

## プログラム

- 12:30 受付開始
- 13:00 開会
- 13:15 講演「地学を国民教養に！」 岩松 暉（鹿児島大学名誉教授）
- 13:30 講演「九州の火山活動」 大倉敬宏（京都大学火山研究センター）
- 14:15 講演「熊本地震と九州の地震活動」 松田博貴（熊本大学くまもと水循環・減災研究教育センター）
- 15:00 講演「火山と人との関わり、火山防災」 福島大輔（NPO 桜島ミュージアム）
- 15:30 パネルディスカッション「火山・地震活動と人々の暮らし」

パネリスト：大倉敬宏、松田博貴、福島大輔、岩松 暉、池辺伸一郎（阿蘇火山博物館）



駐車場には限りがありますので、公共交通機関をご利用ください。

### （関連行事） 阿蘇山と災害地形の現地見学会

詳細は東京地学協会ホームページをご覧ください [www.geog.or.jp](http://www.geog.or.jp)

開催日 2018年10月14日（日）

参加費 4000円（保険料・博物館入場料・昼食代込）

定員 20名（先着順、定員になり次第締め切ります）

出発 8:30 JR 熊本駅 解散 15:45 熊本空港、17:00 JR 熊本駅

主な見学先 阿蘇火山博物館、中岳火口、阿蘇大橋崩落現場、布田川断層

申し込み方法 電話または電子メールで下の連絡先へお申込みください。

阿蘇火山博物館 電話 0967-34-2111 電子メール [info@asomuse.jp](mailto:info@asomuse.jp)

主催：公益社団法人東京地学協会

共催：熊本大学くまもと水循環・減災研究教育センター、阿蘇ジオパーク推進協議会、（公財）阿蘇火山博物館